

2014年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2013年10月30日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2013年10月30日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- ・ 2014年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- ・ 2014年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- ・ 今後の目指すべき方向性
- ・ 当社の経営目標及び株主還元について

.2014年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2014年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

	2014/3期 1Q 【2013/4 ~ 2013/6】	2014/3期 2Q 【2013/7 ~ 2013/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	5,948億通貨単位	3,707億通貨単位	37.7%
営業収益	1,569百万円	1,179百万円	24.8%
経常利益	427百万円	197百万円	53.8%

【第2四半期の損益影響ファクター】

取引高



- ・ 低い変動率や方向感に乏しい相場状況を受け、取引手控え

営業収益



- ・ 取引高の減少



- ・ カバー取引手法の継続的改善による収益性の底上げ効果による取引高当たり収益性の改善

経常利益



- ・ 営業収益の減少。但し、変動費を中心とする費用の減少により減少は229百万円に止まる。



2014年3月期第2四半期 連結決算ハイライト

2014年3月期第2四半期 連結決算の総括とポイント

口座数は方向感に乏しい相場状況の影響を受け増加ペースが鈍化。預り証拠金は前四半期比2.1%増の43,229百万円に。

総口座数	225,986口座	2014/3期1Q末比	2.6%増
預り証拠金	43,229百万円	2014/3期1Q末比	2.1%増

第2四半期(2013/7-9)の外国為替取引高は、方向感の乏しい相場状況の影響を受け、取引が手控えられた結果、前四半期比37.7%減に。

7-9月取引高	3,707億通貨単位	2013/4-6月比	37.7%減
---------	------------	------------	--------

取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

営業収益は外国為替取引高の大幅減少があったものの、取引高当たり収益性の向上により前四半期比24.8%減の1,179百万円に、経常利益は変動費の減少等により197百万円(前四半期比53.8%減)と黒字を確保。

四半期純利益は前四半期比51.9%減の119百万円となった。

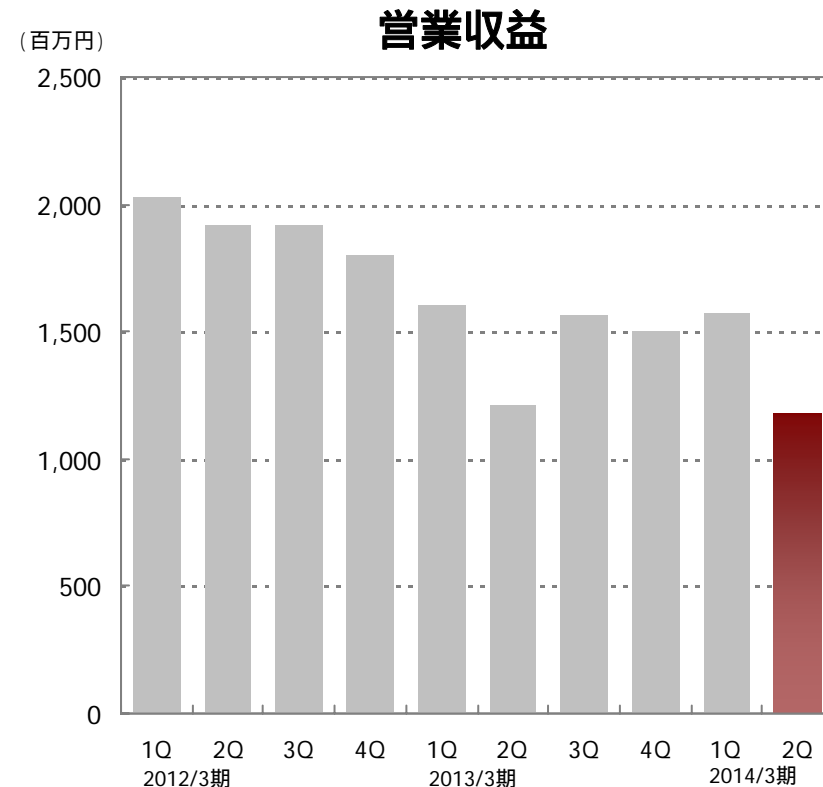
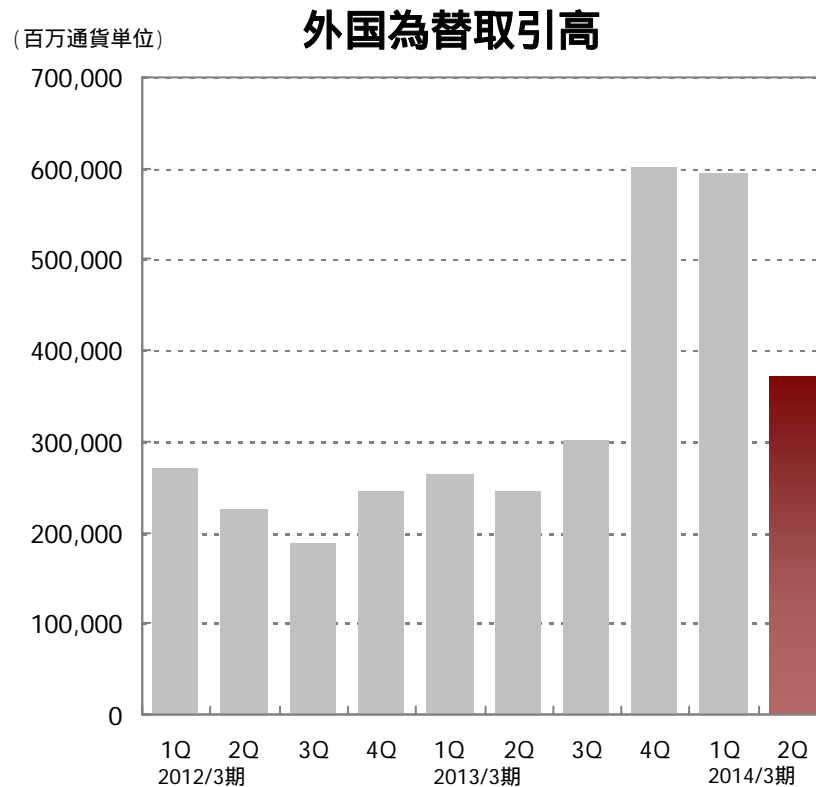
- ✓ 方向感の乏しい相場状況により取引が手控えられた結果、外国為替取引高は37.7%減少したが、カバー取引手法の最適化等の取組みが功を奏し、営業収益は前四半期比24.8%減少に止まる。
- ✓ 営業損失を計上した13/2Q並の営業収益ではあるが、継続的な収益性の向上を目指して、取り組み続けた結果、**四半期純利益は前四半期比51.9%減少ではあったものの、119百万円となり黒字を確保する。**



事業数値の動向

Money Partners Group

■ 外国為替取引高及び営業収益の推移



(単位 = 外国為替取引高: 百万通貨単位、営業収益: 百万円)

	12/3期 1Q	12/3期 2Q	12/3期 3Q	12/3期 4Q	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	14/3期 1Q	14/3期 2Q
外国為替取引高	270,379	225,346	188,609	244,236	264,466	245,265	302,966	602,634	594,850	370,796
営業収益	2,027	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179

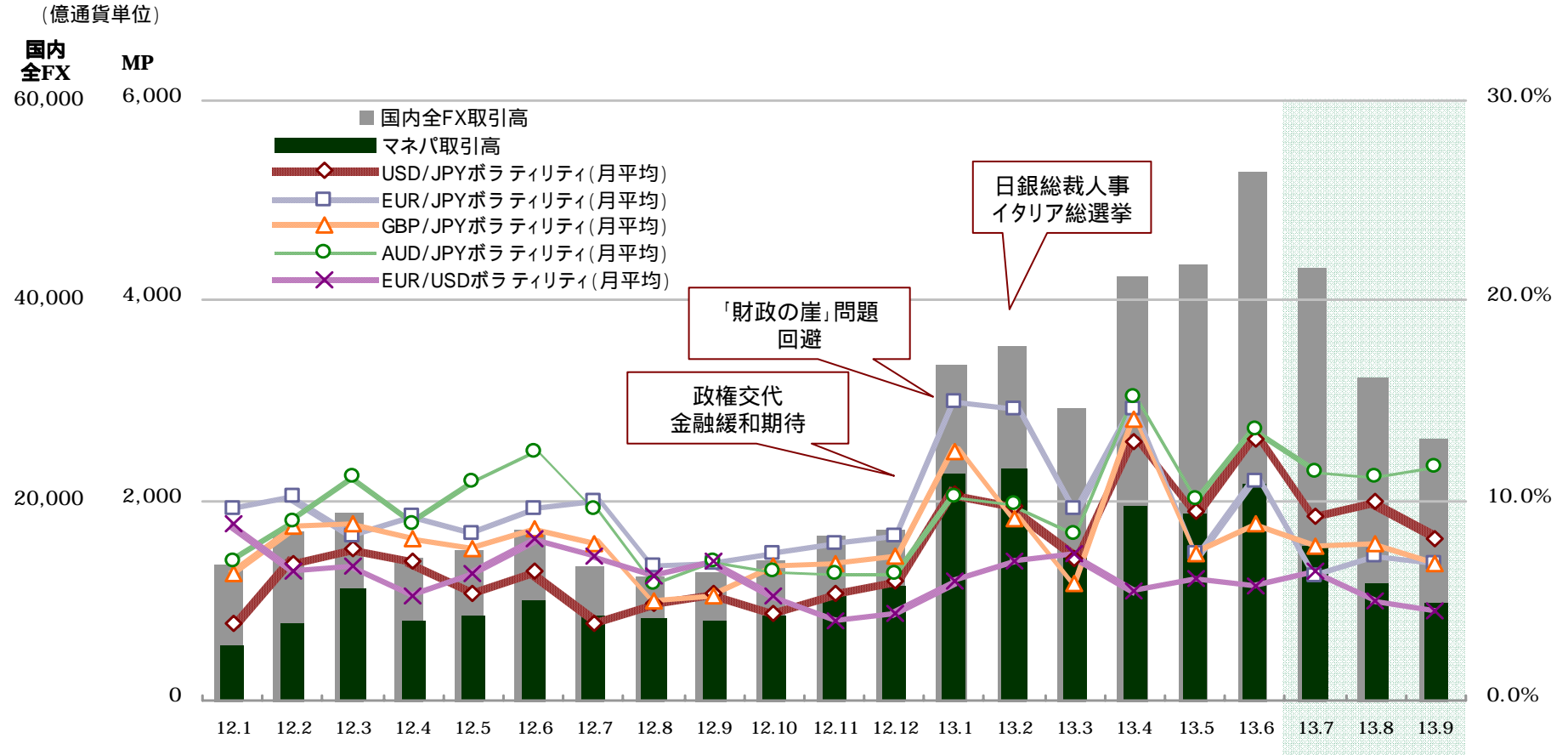
それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



市場環境と事業の動向

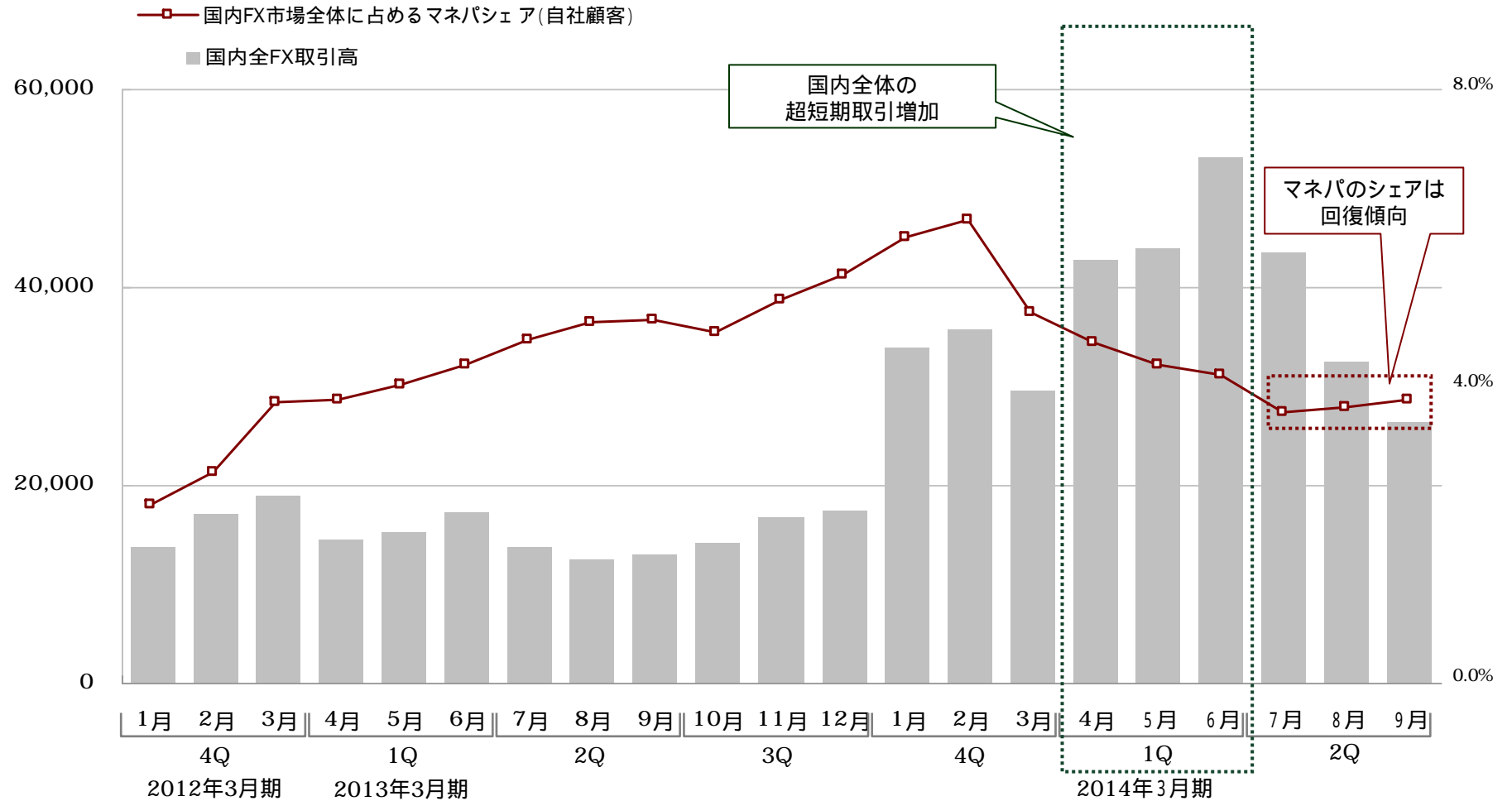
Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



米経済指標等の結果やFRBによる量的金融緩和の縮小時期をめぐる思惑から揉み合いとなり、相場の方向感が乏しく、狭いレンジの動きであったため、全体的なボラティリティは低下傾向。

国内全FX取引高と当社シェアの推移



業界全体の超短期取引増加により当社シェアは減少傾向にあったが、7月以降は回復傾向に。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2012/3期		2013/3期				2014/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179	24.8%
受入手数料	2	3	2	1	6	17	3	2	30.3%
トレーディング損益	1,910	1,786	1,592	1,202	1,548	1,473	1,563	1,171	25.1%
金融収益	3	4	4	4	4	3	2	3	17.9%
その他の売上高	5	5	4	4	4	9	0	2	1333.4%
金融費用	37	32	21	22	22	21	16	16	1.5%
売上原価	3	3	2	2	2	5	0	0	73.2%
純営業収益	1,882	1,763	1,579	1,188	1,538	1,476	1,552	1,163	25.1%
販売費・一般管理費	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	973	12.4%
営業利益	241	129	52	143	199	216	440	189	57.0%
経常利益	237	123	29	142	200	224	427	197	53.8%
税金等調整前四半期純利益	237	117	29	239	198	202	412	194	52.8%
四半期純利益	134	66	16	167	122	124	247	119	51.9%
営業収益経常利益率	12.3%	6.9%	1.9%	11.8%	12.8%	14.9%	27.2%	16.7%	

当四半期営業収益は外国為替相場の影響もあり前四半期比で大幅に減少。一方で、当四半期と同様に外国為替相場の影響により営業収益が低迷した前年同四半期と比べ、コスト構造の大幅な改善により営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字を確保。(前年同四半期は大幅な赤字)



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2012/3期		2013/3期				2014/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	781	767	634	481	439	400	259	224	13.6%
人件費	263	261	256	242	235	244	257	234	8.8%
不動産関係費	195	206	219	216	218	216	154	153	0.9%
事務費	237	236	247	221	280	233	283	226	20.2%
減価償却費	135	135	130	144	141	143	122	111	8.7%
租税公課	11	12	11	13	10	12	15	13	11.7%
貸倒引当金繰入れ	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	18	13	26	11	12	9	19	10	47.4%
販売費・一般管理費合計	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	1,260	1,112	973	12.4%

(主要な費目)

広告宣伝費(1)	130	125	124	130	58	72	79	83	4.7%
システム関連費用(2)	340	359	380	357	408	362	349	285	18.2%

1 取引関係費の一部となります。 2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

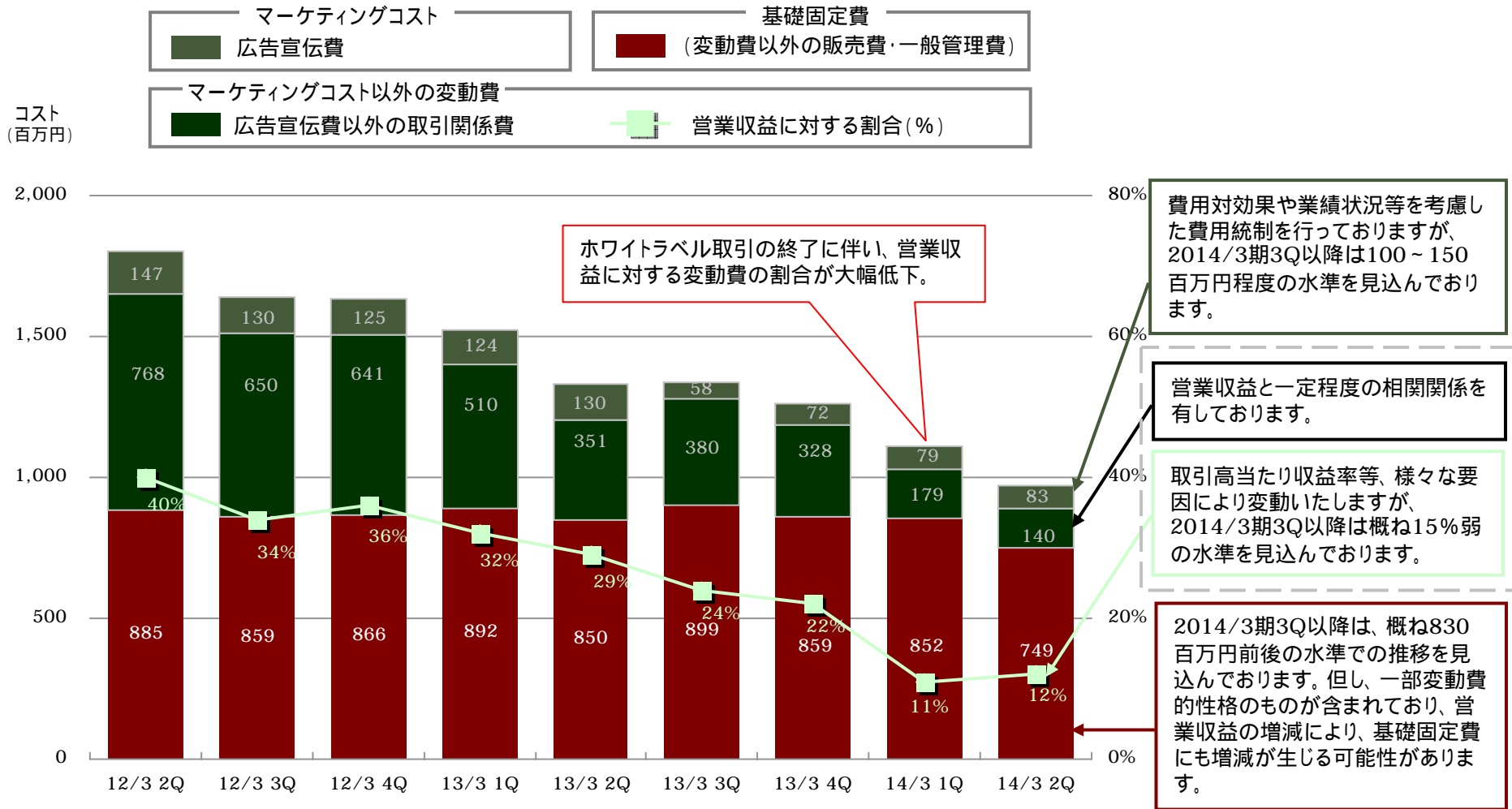
1. 外国為替取引高の減少に伴い、カウンターパーティへの支払手数料等が減少した結果、取引関係費が前期比35百万円減少の224百万円に。
2. 外国為替取引高の減少等の影響により、システム保守費用が大きく減少し、事務費が前四半期比57百万円減少の226百万円に。



Money Partners Group

四半期固定費・変動費推移と今後の動向

■ 主要な固定費・変動費の推移



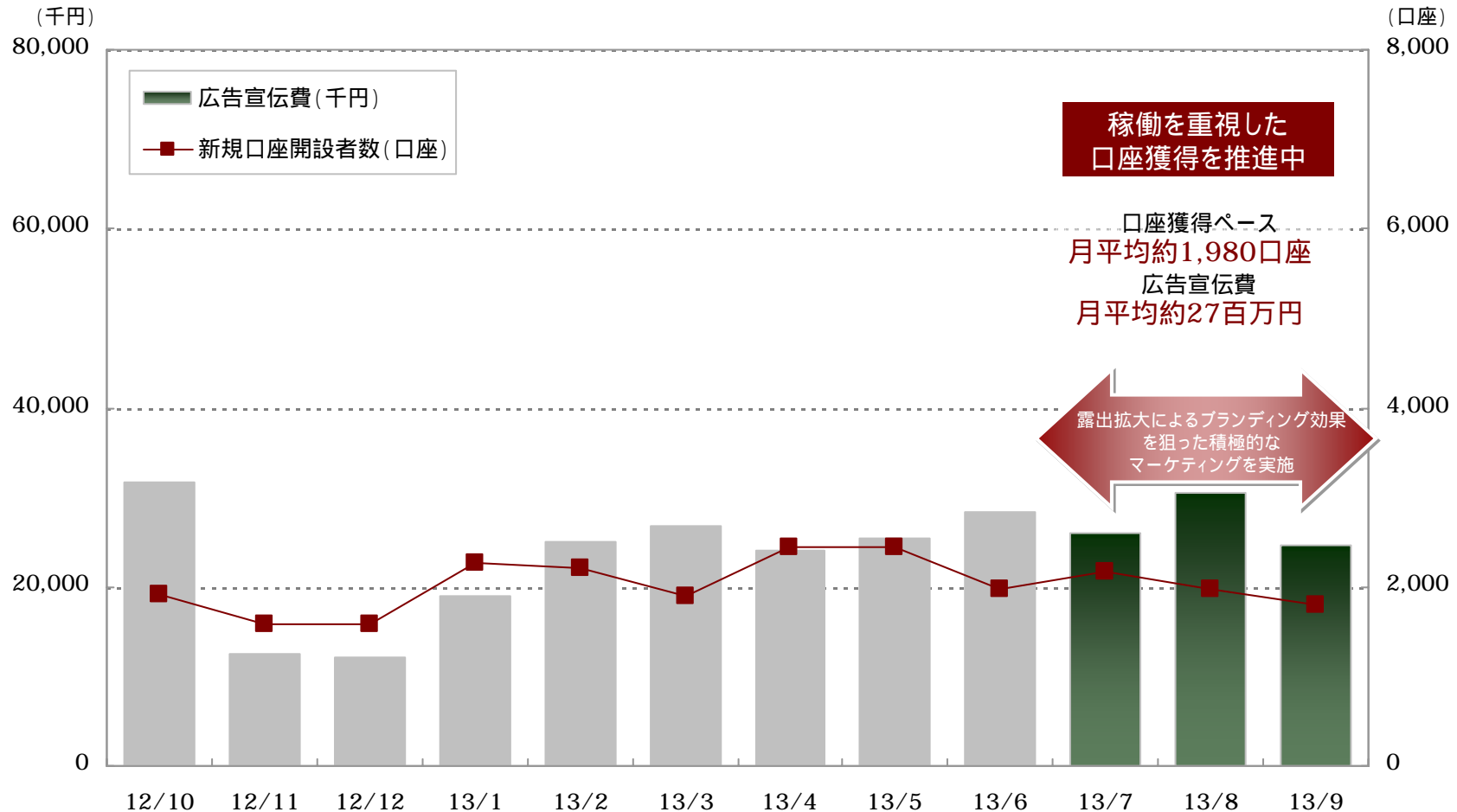
ホワイトラベル取引が前期末で終了したことにより、営業収益に対する変動費の割合は低位安定。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



当四半期は外国為替相場低迷の影響を受け、広告宣伝費対新規口座開設者数の効率性は若干低下。



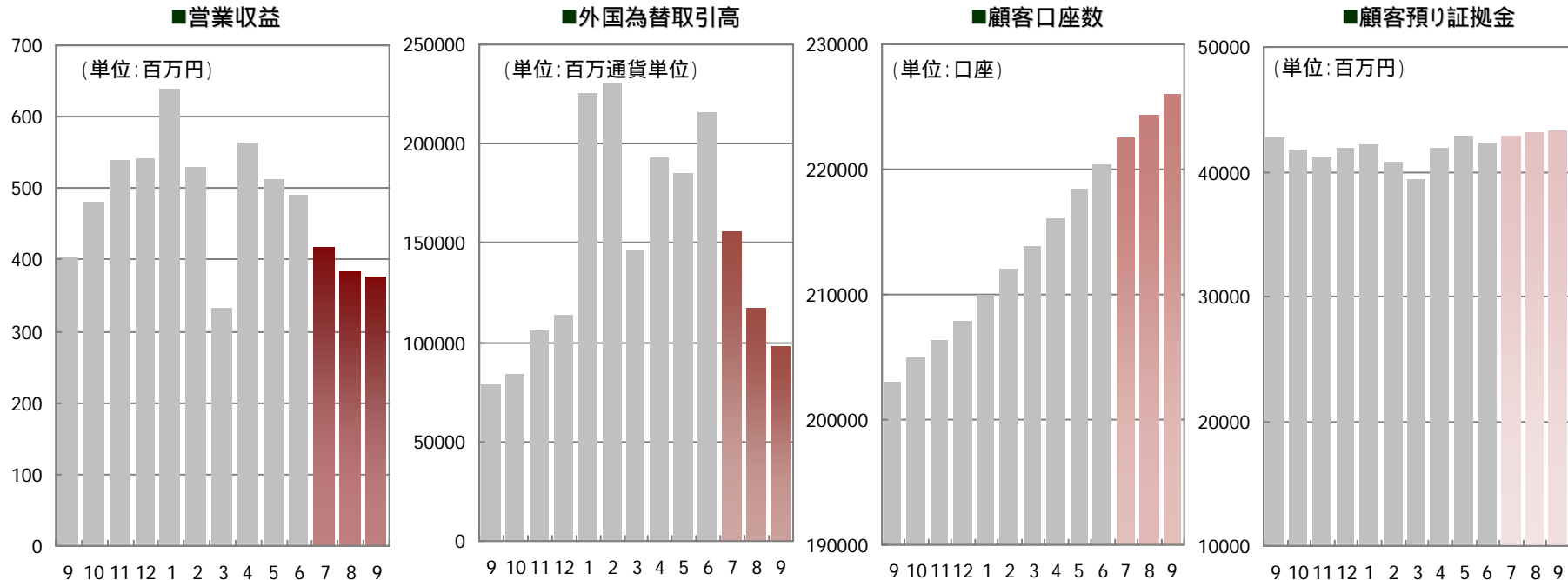
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2012年				2013年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	404	482	539	542	639	531	333	565	514	490	417	385	376
外国為替取引高 (百万通貨単位)	78,794	83,547	105,437	113,982	225,359	231,130	146,144	193,096	185,542	216,211	155,483	117,466	97,846
顧客口座数(口座)	203,125	204,938	206,375	207,859	210,010	212,103	213,850	216,178	218,537	220,361	222,432	224,281	225,986
顧客預り証拠金(百万円)	42,796	41,718	41,219	41,929	42,139	40,774	39,321	41,940	42,801	42,327	42,886	43,202	43,229

営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



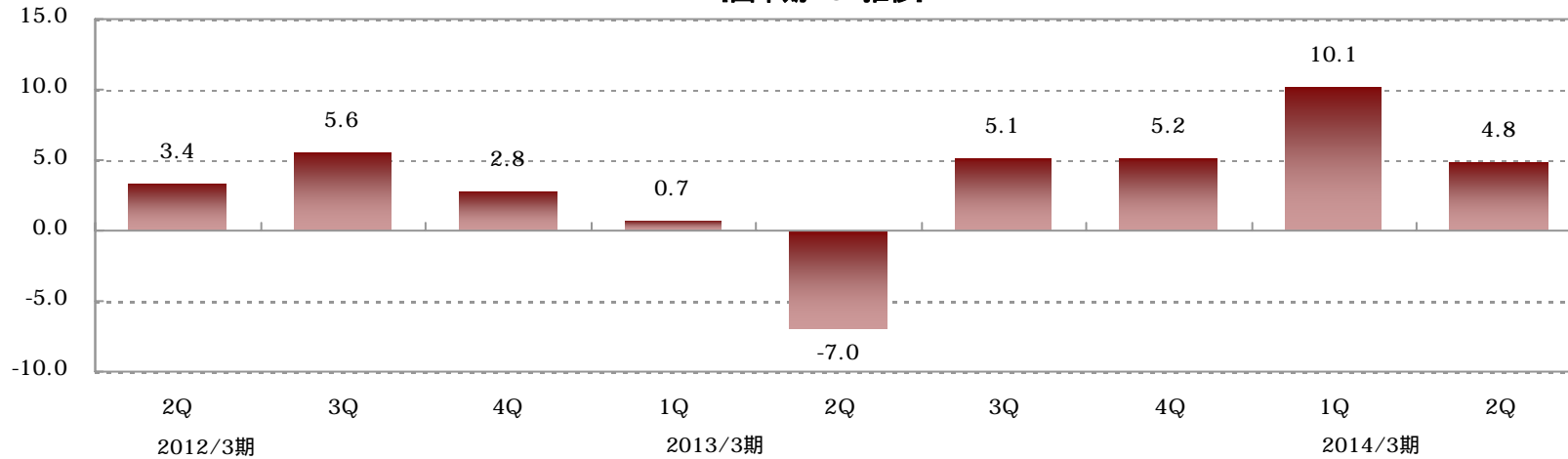


主要経営指標推移

Money Partners Group

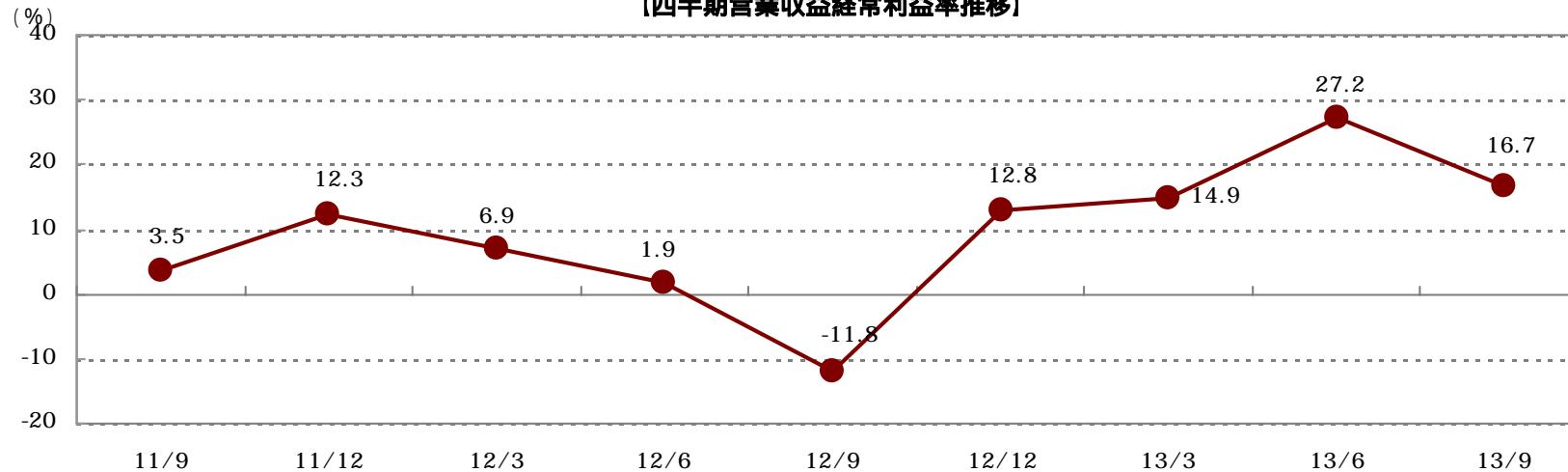
ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期ROE推移】



：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



.2014年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





2014年3月期の重点施策

重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

取引当たり
収益性

ブランディング

重点施策

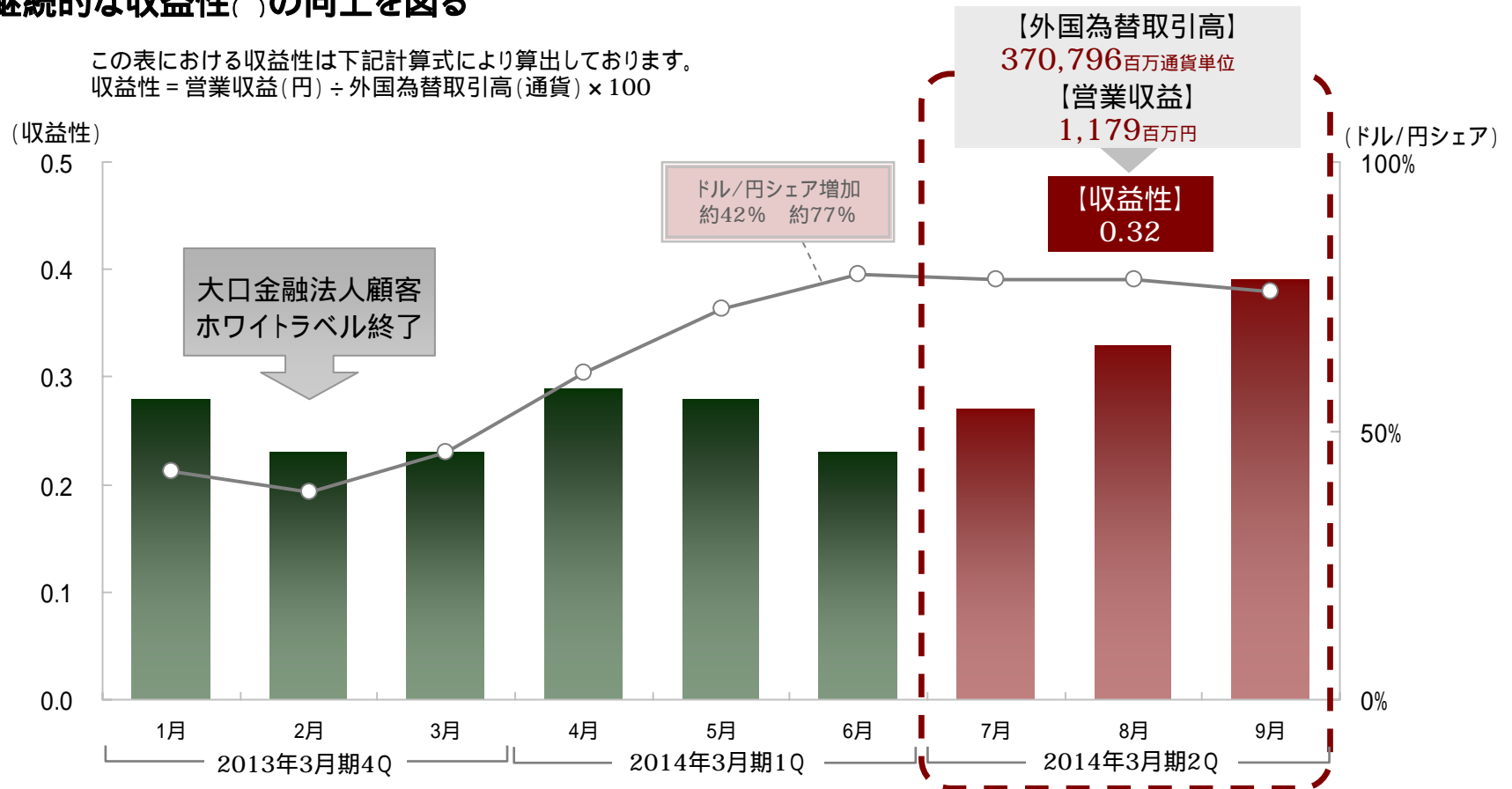
・新基幹システムの本格稼動に伴う
カバー手法のブラッシュアップ

・マス向けメディア展開、商品展開による
ライトユーザーの取込
・ツール平易化、取引サポート中心
の機能改善によるビギナー層獲得

基幹システム刷新による収益性改善

- ◆ 約定系、顧客系システムの更なるチューニング及びカバー手法の改善等によって継続的な収益性()の向上を図る

この表における収益性は下記計算式により算出しております。
 収益性 = 営業収益(円) ÷ 外国為替取引高(通貨) × 100



低スプレッド通貨の取引高割合の増加にも関わらず取引高当たり収益性は向上中



Money Partners Group

重点施策の進捗状況

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

日本最安 ※

お得で便利! マネパの
外貨両替・受取サービス

※800通貨以上の場合。矢野経済研究所調べ。

利用者急増中!
成田・羽田・関空・セントレア
空港で外貨を受取れます!

なんと最大 **98%OFF**
両替手数料

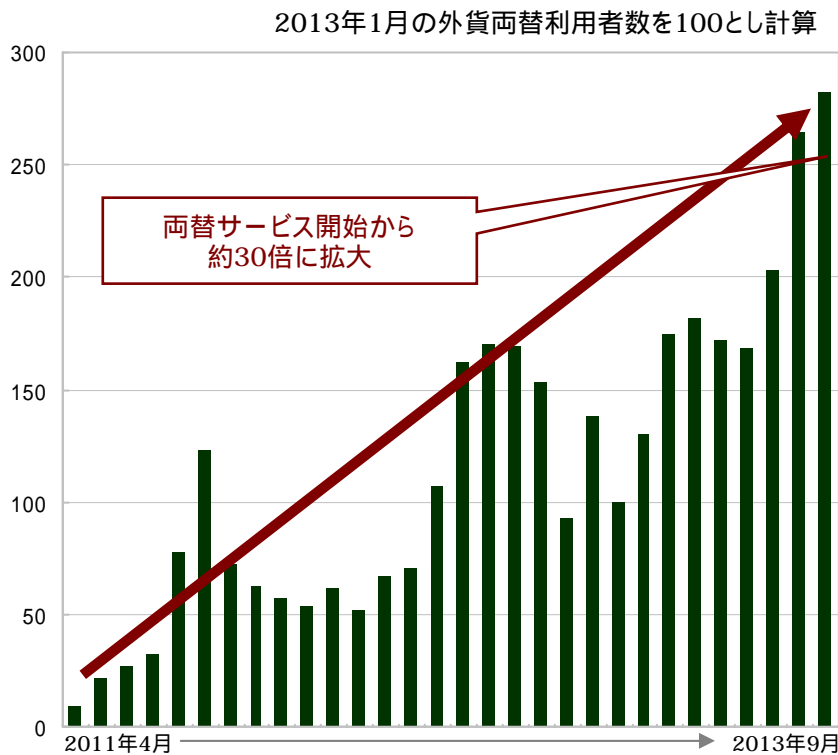
当社のパートナーズFX口座をお持ちで「外貨両替・受取サービス」をはじめてご利用になるお客様を対象に外貨両替・受取サービスの手数料がゼロ円になるキャンペーンを実施いたしました。

9月30日
申込分まで

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

◆ 受取拠点の追加により利用者数増加

外貨両替利用者数推移



空港での顧客認知

より多くの実需ユーザーの取り込みのため、羽田空港、中部国際空港を追加



裾野の広い外国為替取引初心者層・実需層からの顧客獲得導線を構築

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

◆ 商品性を改良しビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」

少額FX取引の元祖！



100円からの本格FX!!
新しいnanoはじまる。

少額



少額FX

100円から取引できる、今から始める最適。

手軽



スマートフォン対応でどこでも気軽に取引。

本格志向



本格志向

自宅でじっくりと腰をすえて本格トレード。

6/24
リニューアル

商品性改良

【新nanoの特徴】

- スプレッドの更なるナロー化
➔  米ドル円スプレッド0.3銭など業界最低水準を実現
- スワップ最高水準
- 取引ツールとの連動



PartnersFX
『クイック発注ボード』



HYPER SPEED Touch
『HyperSpeedTouch』

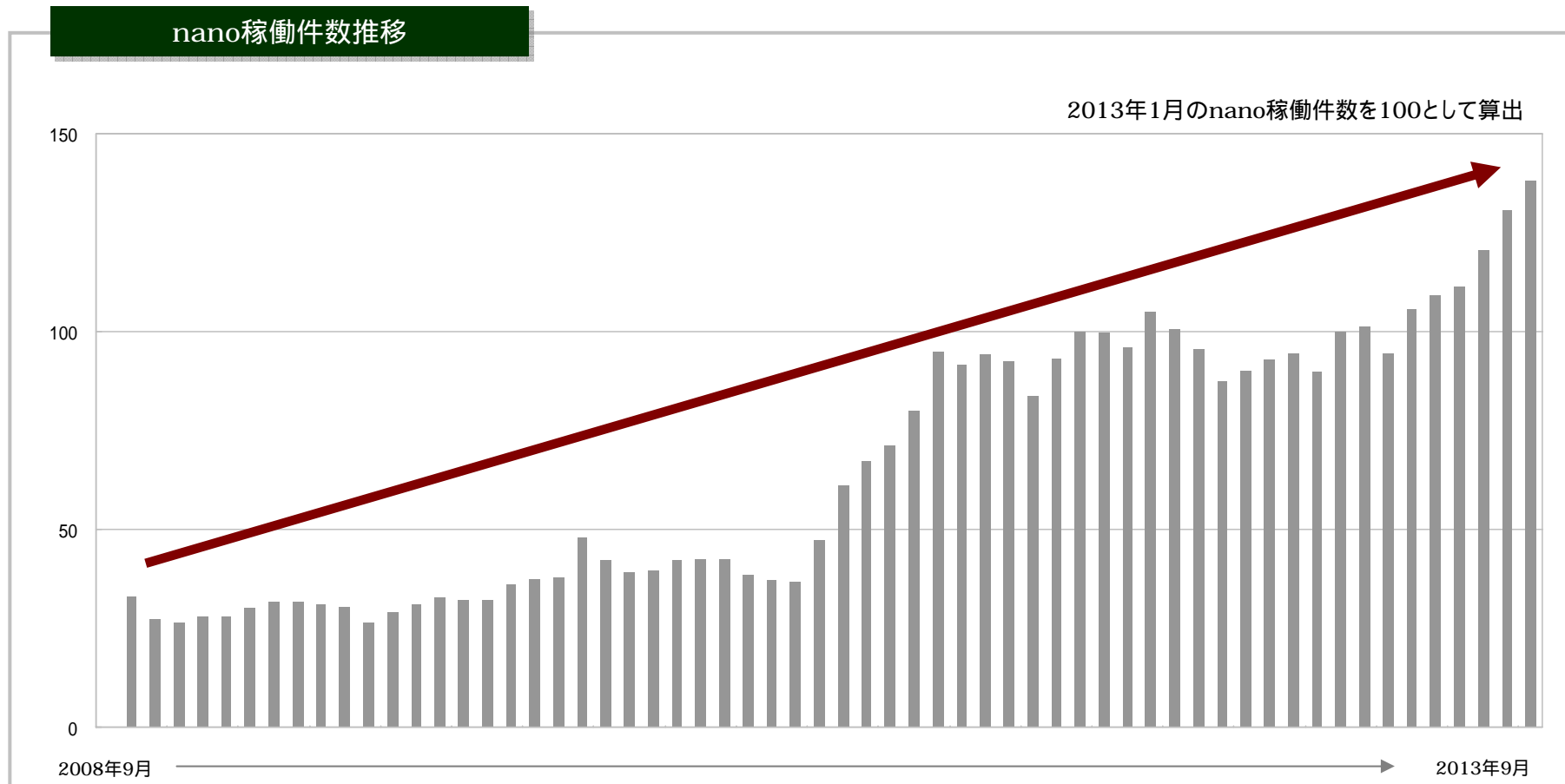
7月22日
Android版リリース

7月30日
IOS版リリース

実需層・ビギナー層からの顧客獲得ルート確立に取り組み、マス戦略展開を推進

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

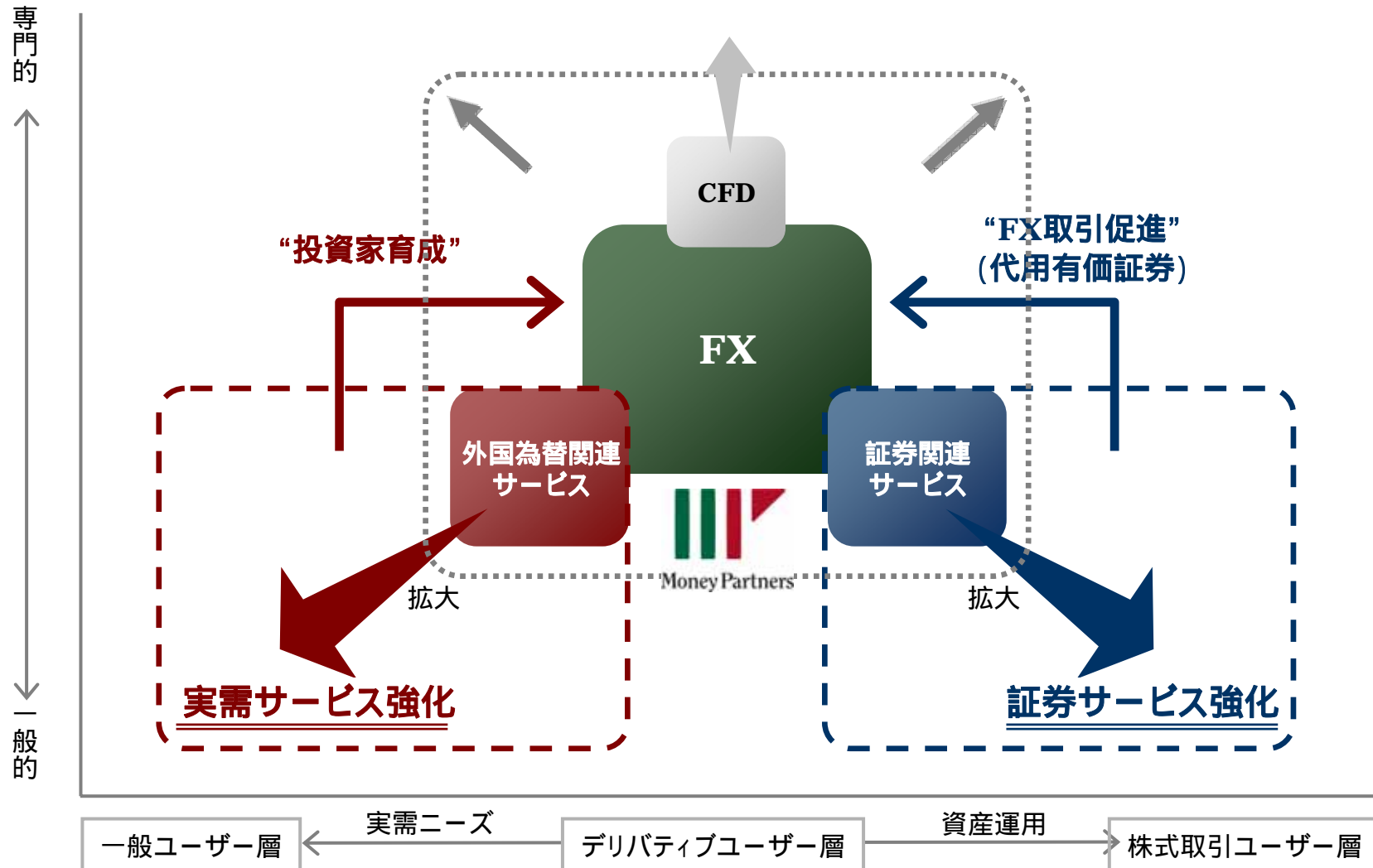
◆ 商品性の改良により稼働件数が増加



FX取引の増強策として一般化路線の定着を図るため、nanoの施策を展開

・ 今後の目指すべき方向性





実需サービス・証券サービスの強化拡大を通してコア事業であるFX事業の成長を実現する

. 当社の経営目標及び株主還元について



ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2014年3月期第2四半期(2013年7～9月)のROEは4.8%**

:四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2014年3月期第2四半期(2013年7～9月)の営業収益経常利益率は16.7%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE及び営業収益経常利益率の向上を目指して参ります。

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**(年2回)

	2013年3月期				2014年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	16	167	122	124	247	119		
配当金の総額 (百万円)	-		30		90			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式20,023)				322,110 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	0円		100円		300円			

2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げや年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図ってまいりました。今後も、株主利益の最大化を目指して参ります。



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

商号 株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)
金融商品取引業の登録番号 関東財務局長(金商)第2028号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2014年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ